

● 福島復興支援 今を生きる避難先の仲間と作品展

春のぼのぼの

in 湘南台

故郷に戻れるその日まで

◆ つるし雛、和布細工の展示・販売

◆ 協賛展示

◆ ハナモメンフラワーデザイン教室

◆ さわやか倶楽部ひなの会

◆ 「ほのぼの」応援コンサート

(両日午後二時から)

12日(土) 出演：エリック フクサキ

(南米ペルーから演歌歌手を志し単身来日プロデュース)

13日(日) 出演：岸田 晃司 篠笛・能管奏者

(助演：千代園 剛 邦楽打楽器奏者)



4 / 12^土 - 13^日

10時～17時 (13日は16時まで)

湘南台駅地下イベント広場 (横浜市営地下鉄改札前)

主催：春のぼの in 湘南台実行委員会

後援：藤沢商工会議所、藤沢商工会議所女性会、湘南台地区社会福祉協議会、
湘南台地区郷土づくり推進会議

協力：湘南台市民センター、湘南台商店連合会、湘南台東口商店会協同組合、老人給食すばる
円行公園竹林の会、多世代交流カフェたんぼ



福島県楢葉町
和布細工工房「ほのぼの」
代表 高原カネ子さん

福島を応援しよう!

作品の 展示・実演と販売



・ 和の生地で笑って暮らせる輪を作るう ・

東日本大震災と原子力発電所事故後、指導者の高原カネ子さんが一時藤沢市湘南台に避難していらっしゃいました。そのご縁で、一昨年、湘南台ファンタジアに福島より「ならば天神太鼓うしお会」をお呼びしました。メンバーの迫力ある演奏に観客皆様に大きな感動を与えていただきました。震災から3年経った今、仮設住宅と借り上げ住宅では高原さんが中心に和布細工工房「ほのぼの」教室の輪が広がっています。徐々に参加者が増え、今では榎葉町だけでなく、避難が続く富岡町、双葉町、大熊町、浪江町、広野町の40代から80代まで60人を超える方々が、意欲的に吊るし雛

や和布作品を制作しています。昨年秋、藤沢市民の皆様へ衣装ケース11箱の着物を寄贈して頂き、福島へ届けることが出来ました。今回はその着物で作ったつるし雛を湘南台で展示する運びとなりました。「帰りたくても帰れない」思いは、和布で作る作品に込められ、「生きる喜び」や「生き甲斐」として今日も輪が広がっております。福島から3名の制作者が参加します。県外活動で女性が出向き説明する機会は初めてです。ぜひ地域の皆様に見て頂き、これから生き抜く力と勇気を分かち合いたいと思います。(実行委員)
売上げ金は「ほのぼの」活動資金につなげます。



この度は私たちの活動を理解していただき、さらには、東日本大震災そして、原子力事故による、避難生活に対して、並々ならぬご支援をいただきまして、本当に有難うございます。まだ故郷に戻ることは出来ませんが、そのことをしっかり受け入れ、今を笑顔で生きるすべを探し出すことしかないのです。そのような意味でも、和布細工はみなさんの心のコントロールに、とても素晴らしい効果を発揮しております。仮設住宅の中で、朝目覚める張り合いが見つかったと生き生きとしまいました。今、私たちに出来ることは、改めて全国のご支援して下さる方々へ心からの感謝と、福島第一原子力発電所の収束を願い、安全に廃炉に向かうことが出来ますよう、心から祈るばかりです。本当にありがとうございます。心から感謝申し上げます。

(高原カネ子)